

令和8年度 浜松地区中学校新人総合体育大会【サッカー競技の部】 大会要項

主 催	浜松市中学校体育連盟 浜松市教育委員会	湖西市中学校体育連盟 湖西市教育委員会
日 程	1 回戦 2 回戦、準々決勝、順位決定戦 準決勝、決勝、順位決定戦	令和8年9月19日（土）20日（日） ※ 開会式 ... 実施なし 令和8年9月26日（土） 令和8年10月3日（土） ※ 閉会式 ... 実施なし
会 場	サーラグリーンフィールド（SGF）【サッカー場】 サーラグリーンフィールド（SGF）【スポーツ広場】 可美総合公園球技場 雄踏総合公園多目的スポーツ広場 雄踏総合公園球技場（芝生大）	浜松市浜名区平口 3071-1 浜松市浜名区平口 3071-1 浜松市中央区増楽町 290-2 浜松市中央区雄踏町宇布見 9984-1 浜松市中央区雄踏町宇布見 9984-1
参加資格	（1）2026年度の大会参加申込書に記載されている選手であること。 （2）2026年度の中学校体育連盟の活動にかかわる負担金を納入していること。 （3）2026年度の公益財団法人日本サッカー協会に中体連所属選手として登録されていること。 （4）合同チームについては、「静岡県合同チーム参加規定」に準じて編成を行うこと。 - 合同チームの各校は、静岡県中学校体育連盟に加盟していること。 - 合同チームの編成を希望するそれぞれの学校において、学校教育活動計画に基づいて部が設置され活動していること。 - 合同チームの編成は、浜松・湖西地区の学校同士とする。ただし、以下の編成を基本とする。 ① 11人に満たない学校同士 ② 11人に満たない学校と満たしている学校 （5）本大会における、個人情報の取扱いについては、以下の通りである。 本大会主催者は、この大会に参加するすべての競技者（生徒）の個人情報を大会運営に必要とする用途のみに使用を限定する。また、競技者は、「大会プログラム」「会場でのアナウンス」「電光掲示板への記載」「大会後の新聞発表」「中体連年鑑史等への記載」「インターネット（ホームページ等）およびケーブルTV放送に映像・姓名・年齢（学年）・所属及び大会成績等の掲載・転載」により公開されることを了承の上、参加申し込みをする。	
大会形式	32チームによるノックアウト方式（トーナメント方式） ■ 自然災害等の影響で予定されていた試合が実施できなかった場合の順位決定について ■ - 大会期間中に実施できた試合結果を最終順位に反映させる。 - 次大会のシード順については、勝ち残ったチームによる抽選によって決定する。	
競技規則	本年度の公益財団法人日本サッカー協会競技規則（サッカー競技規則 2025/26）による。	
大会規定	以下の項目については、本大会の規定を定める。 （1）ボール - 日本サッカー協会検定球（モルテン社製またはミカサ社製ボール5号球）を使用する。 - 使用するボールは、大会本部で用意する。 （2）競技者の数 - 選手登録は試合毎の登録とし、最大30名とする。 - 各試合において、ベンチ入りできる選手は、最大30名とする。 - 試合開始30分前までに、先発する選手11名に「○」をして、本部に提出する。 - 最大9名までの選手交代が認められ、一度退いた選手も再び出場できる。 - 出場者がベンチ入りする選手と異なる場合は、試合を没収する。	

(3) 役員の数

- ・ テクニカルエリアに入ることができる役員の数は、5名以内とする。
- ・ テクニカルエリアに入ることができる役員は、監督1名、大会参加申込書に記載された「部活動指導員」「学校長が認めた外部指導者(コーチ)」「付き添い職員」の中から最大4名とする。**※付き添い職員以外はチーム情報登録を必ずするようにしてください。**
- ・ 暴力・体罰・セクハラ等に対する浜松市中学校体育連盟の対応は、以下の通りである。

浜松地区中学校総合体育大会に出場するチーム・選手の引率者、監督、部活動指導員、外部指導者(コーチ、トレーナー等)は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により、任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であることとしている。校長はこの点を確認して、大会参加申込書を作成する。なお、外部指導者(コーチ、トレーナー等)は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。

(4) 試合時間

- ・ 試合時間は50分(前後半各25分)とする。
- ・ ハーフタイムのインターバル(前半終了から後半開始まで)は、7分間とする。
※5分間はベンチ内で休養し6分後にベンチアウトとする。本部から時間をアナウンスする。指導者は時間厳守する。
- ・ 試合時間内で勝敗が決しない場合は、PK方式により勝利チームを決定する。
- ・ PK方式に入る前のインターバルは、5分間とする。

(5) 選手の用具(ユニフォーム等)

- ・ 原則、日本サッカー協会の「競技規則」および「ユニフォーム規定」に基づくものとする。
- ・ **本大会に登録(メンバー表に記載)した正・副2組のユニフォーム(シャツ、ショーツ及びソックス)を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。**
- ・ 正・副の2色については明確に異なる色とする。
- ・ 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チーム立ち会いのもと、その試合において着用するユニフォームを決定する。
- ・ 主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。
- ・ シャツには、チーム識別標章(チーム名、チームエンブレムもしくはその両方)を必ず表示しなければならない。
- ・ シャツの前面及び背面には、選手番号を必ず表示しなければならない。
- ・ キャプテンアームバンドには、チーム識別標章、選手番号、ホームタウン名又は活動地域名、選手名、広告及び文字等を表示することはできない。ただし、「C」「Captain」「キャプテン」等のキャプテンであること、製造メーカー識別標章を意味する文字については、表示することができることとする。
- ・ パンツやソックスについて、同系色であるならば、メーカーは問わない。
- ・ アンダーシャツの色は問わない。ただし、原則として、チーム内で同色のものを着用する。
- ・ アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。ただし、原則として、チーム内で同色のものを着用する。
- ・ ソックスに、テープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。

ショートソックスとカーフソックスの組み合わせ(例：ショート黒・白+カーフ緑)は認めますが、組み合わせ全体をチームのソックスの色として扱い、FP・GKそれぞれ統一してください(単色との混同不可)。境目のテーピングはショートソックスまたはカーフソックスのいずれかの色に合わせ、チームで統一してください。

- ・ GK登録が1名しかおらず、怪我等で交代しなければならない状況の場合、フィールドプレーヤーが交代するGKのユニフォームまたは異なる番号のユニフォームを着用してGKとして出場することを認める。**※本部に申請し、本部が相手チームに伝える。**
- ・ PK方式の場合において、戦術的にフィールドプレーヤーが自分とは異なる番号のGKユニフォームを着用して出場することを認める。その際、パンツやソックスはフィールドプレーヤーと同じものでもよい。
- ・ 試合開始前に、用具チェック、爪が伸びていないかの確認を必ず行う。アクセサリ等を付けている選手、爪の長い選手、茶髪(染色)の選手の出場は認めない。

懲 罰	(1) 本大会期間中に、警告を2回受けた選手は、次の1試合に出場できない。 (2) 本大会において、退場を命じられた選手は、次の1試合に出場できず、それ以後の処置については、「顧問校長」「浜松地区中体連サッカー競技部長」「静岡県サッカー協会西部支部第3種委員長」「会場責任者」で構成される大会規律委員会において決定する。 (3) 本実施要項の記載事項にない懲罰に関する事項は、大会規律委員会にて決定する。
表 彰	(1) 優勝以下第5位までに表彰状を授与する。 ※ 第3位 ... 2チーム、第5位 ... 4チーム (2) 優勝チームには優勝杯を授与する。 (3) 本大会の上位8チームは、【第55回レッドウイング・ホンダカップ（中体連の部）＜兼第42回静岡県U-14新人サッカー大会西部予選＞】のシード権を得る。
そ の 他	(1) チームベンチは、組み合わせ番号の若いチームが本部に向かって右側に入る。 (2) ウォーミングアップは指定された場所で行うこと。なお、登録選手以外がフィールド内へ入ることを認めない。 (3) 審判に対するアピール、判定に対する不服等、言動で表さないこと。 (4) 選手や保護者については、その学校で責任をもち、中学生として品位を汚さぬよう指導、注意すること。 (5) 来場者の試合観戦は、ベンチの反対側とする。 (6) 会場使用上の注意を絶対に守ること。 (7) 何らかの事情により、登録された監督をはじめとする役員がすべてベンチに入れない事情が発生した場合には、大会本部（顧問校長、競技部長）の判断のもと代理を置くことができる。
試合の中断等への対応	(1) 雷雨、暴風等、その他不測の事態により試合が続行できない場合は、大会本部で協議する。 (2) 試合中、落雷の予兆があった場合は、速やかに試合を中断する。また、選手および来場者、大会役員は、直ちに近くの建物、自動車、バスの中など、安全な場所に避難する。試合再開については、雷活動が止んで20分以上が経過し、安全の確保ができた段階で判断する。再開する場合は、試合時間、スコア等、中断時からの再開とする。 (3) 落雷の危険性や暴風雨等の理由で、試合開始後に試合を中断・延期した場合には、後日、中断した時点の状況から再開するものとする。 (4) 自然災害等により、大会運営に大幅な支障をきたす場合については、大会本部の判断により、試合時間等を変更する。 (5) 台風の襲来、競技が行えない悪天候が長時間続く場合には、予め試合を延期する。
熱中症対策	熱中症対策として、下記のような対策を講じる。 (1) WBGT値「28℃未満」の場合 ... 「飲水タイム(※1)」を設ける。 (2) WBGT値「28℃以上」の場合 ... 2分間の「Cooling Break(※2)」を設ける。 (3) WBGT値「31℃以上」の場合 ... 「飲水タイム」と「Cooling Break」(※3)を設ける。
感染症拡大防止対策	(1) 本大会に参加する選手は、発熱やかぜ等の症状がある場合には、試合に帯同しない。 (2) 会場内で体調がすぐれない選手がいた場合は、すみやかに保護者へ連絡し、引き渡す。 (3) ベンチ内にいる選手は、お互いの距離を空けるよう努めること。
災害発生及び警報等発令時の対応について	(1) 地震発生時に伴う対処 ① 震度4以下 → 大会実施 ② 震度5弱以上 → 大会延期 ※大会開催中の場合は、原則、選手は会場に留め置く。安全確認後、保護者へ引き渡し。 (2) 津波発生に伴う対処 ～ 津波対応が想定される試合会場 ～ すべての会場 ① 津波注意報の発令 → 大会実施（ただし、選手の安全を最優先とする） ② 津波警報の発令 → 大会延期 ※大会開催中の場合は、原則、選手は会場に留め置く。安全確認後、保護者へ引き渡し。

(3) 暴風警報等発表に伴う対処

- ① 暴風警報 → 大会延期
- ② 「台風以外の」大雨警報 → 大会実施
- ③ 「台風による」大雨警報 → 浜松地区のチームについては、原則、実施。
ただし、選手の安全が確保されない場合は、延期とする。
→ 湖西地区のチームについては、延期とし、後日実施する。

(4) 「高齢者等避難」「避難指示」発令に伴う対処 (※発令された地区に所在する学校)

- ① 高齢者等避難 → 大会延期。ただし、大会開催中に発令され、かつ運営の状況によっては再開される場合がある。

※大会開催中の場合は、原則、保護者へ引き渡し。安全確認できない場合、

選手は会場に留め置く。

- ② 避難指示 → 大会延期。ただし、大会開催中に発令され、かつ運営の状況によっては再開される場合がある。

※大会開催中の場合は、原則、選手は会場に留め置く。安全確認後、保護者へ引き渡し。

シード校 シード校については、2025 年度西部地区中学 1 年生サッカー大会の結果により、以下の通りである。※県リーグの参戦状況を考慮する。

- ① 浜松開誠館 ② 浜北北部 ③ 笠井 ④ 曳馬 ⑤ 湖東

指導者打ち合わせ
会及び組合わせ
抽選会

【日 時】 令和 8 年 9 月 9 日 (水) 14 時 00 分～
【場 所】 積志協働センター 302 号室
【提出書類】 ① 大会参加申込書 (職印)
② 外部指導者(コーチ)申請書 ※追加分
③ 選手証 (1, 2 年生分) ※ラミネート不可

連絡先 浜松地区中体連サッカー競技部長 北浜東部中学校：鈴木義典
住 所 〒434-0028 浜松市浜名区上善地 317 番地
電 話 053-586-3177 / F A X 053-586-4373

※1…飲水タイム

- ・ 前後半 1 回ずつそれぞれ半分の時間が経過した頃、試合の流れの中で両チームに有利、不利が生じないようなボールがアウトオブプレーの時に、主審が選手に指示を出して全員に飲水させる。(理想は中盤でのスローイン)
- ・ 選手はあらかじめラインの外に置かれているボトル(水筒×)をとるか、それぞれのベンチ前でベンチのチーム関係者から容器(水筒)を受け取って(手渡しは避ける)、ライン上で飲水する。その際、容器を取るために一時的にラインを越えて、フィールドから出ることは許可する。
- ・ ボトル(水筒)の中身は、原則、水のみ(芝生を傷つけたりする恐れがあるため)とする。会場によっては、スポーツドリンクでも可。バケツ等の設置はゴムやウレタン、布製など柔らかい素材とする。
- ・ 飲水タイムは 30 秒～1 分間程度とし、主審は選手にポジションにつくよう指示して、なるべく早く試合を再開する。
- ・ 飲水に要した時間は、アディショナルタイムとして追加される。

※2…Cooling Break

- ・ 前後半 1 回ずつ それぞれ半分の時間が経過した頃、2 分間の Cooling Break を設定し、選手と審判員は以下の行動を取る。
 - ① 日影のあるベンチに入り、休む。
 - ② 氷、アイスパック等で体を冷やし、必要に応じて着替えをする。
 - ③ 水だけでなくスポーツドリンク等を飲む。
- ・ Cooling Break に要した時間は、アディショナルタイムとして追加される。

※3…飲水タイム&Cooling Break

- ・ 前後半それぞれ 3 分の 1 が経過したとき (25 分ゲームの場合 8 分頃) 飲水タイム、3 分の 2 が経過したとき (25 分ゲームの場合 18 分頃) Cooling Break を設定し、※1※2 に記述されている行動を取る。
- ・ それぞれに要した時間は、アディショナルタイムとして追加される。飲水タイムは原則 1 分、Cooling Break は原則 2 分の追加となる。

【留意点】

- ・ 両チームに有利、不利が生じないようなアウトオブプレーの時に、主審が判断して設定(笛を吹く)する。
- ・ 戦術的な指示も認められる。主審の指示で速やかにグラウンドに戻る。
- ・ サブメンバーは出場メンバーと区別するため、必ず、試合に使用しているユニフォームと別色のビブスを着用する。
- ・ Cooling Break を設定する場合は、試合前またはハーフタイム時に両チームに伝達する。